

文化の家大規模改修

改修ポイント

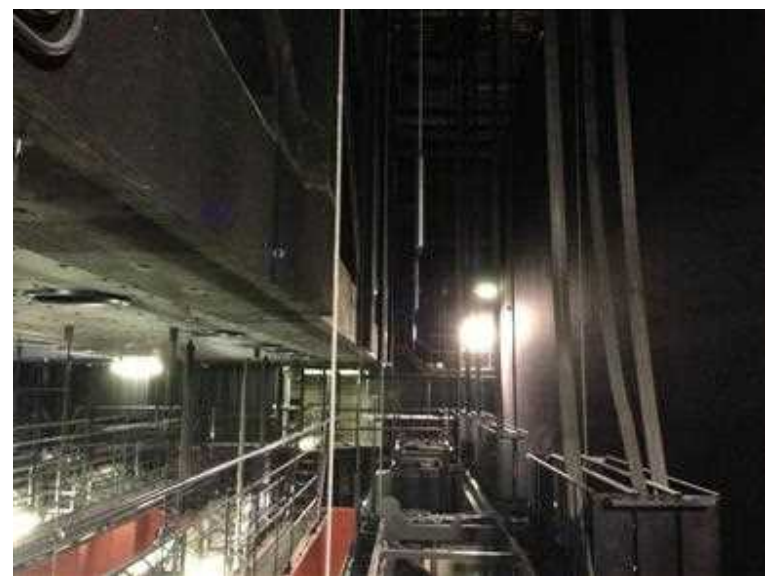
- 1.安全性
- 2.機能性
- 3.利便性
- 4.コストパフォーマンス

1. 安全性

- ①吊り物ワイヤロープの更新
- ②客席反転迫りの油圧部改修
- ③外壁、屋根の防水性の向上
- ④外壁の耐久性、美観の向上

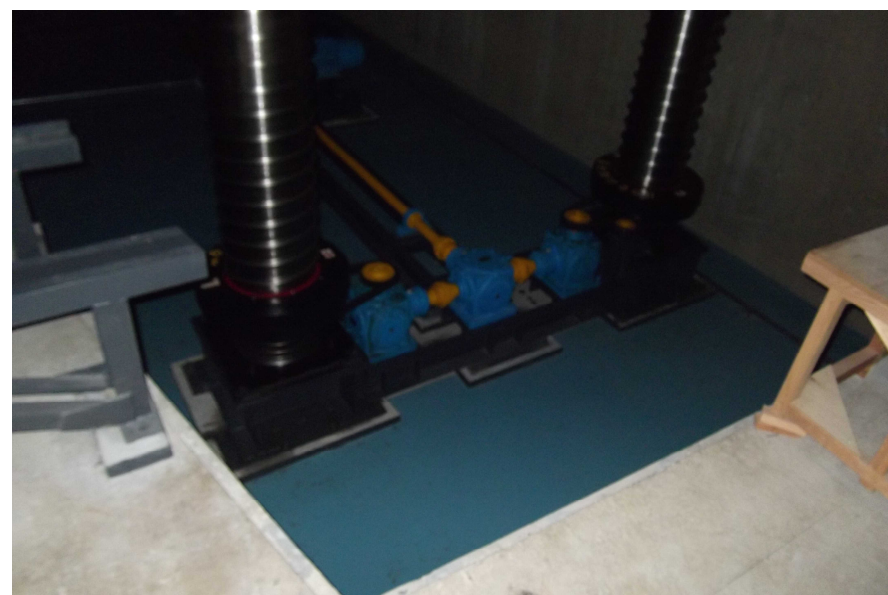
1-①吊り物ワイヤロープの更新

必要性 ワイヤーロープの寿命は10～15年現在、劣化が進んでいることから、事故につながる前に交換。



1-②客席反転迫りの油圧部改修

必要性 油圧部の劣化により動作に支障が出てきており、また部品の生産終了による故障対応不可能な状況であることから改修。



1-③外壁、屋根の防水性の向上

必要性 外壁止水シーリングの劣化及び屋上防水の劣化がみられ、現段階でも雨漏りしていることから、施設維持の対策をとる。



1-④外壁の耐久性と美観の向上

必要性 外壁のひび割れが進行していることから、補修し、また美観を向上させる

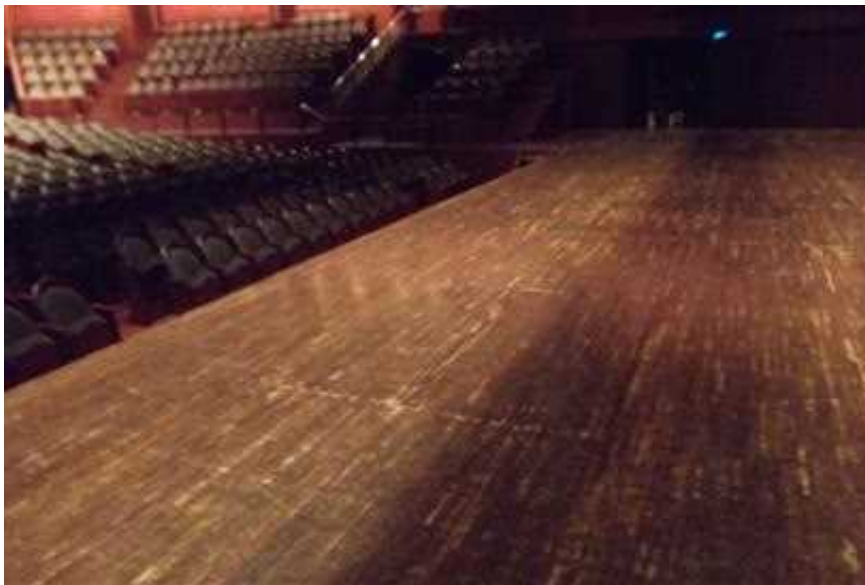


2. 機能性

- ① 舞台床面の改修
- ② 吊り物・床機構操作卓の改修
- ③ 各制御盤の更新
- ④ 舞台音響設備更新
- ⑤ 舞台照明設備更新

2-①舞台床面の改修

必要性 現在舞台床面が摩耗により削られており、舞台の美観が悪いことから改善する。



2-②吊り物・床機構操作卓の改修

必要性 故障した部品の交換で対応してきたが、機能が低下してきたこと及び部品の生産が中止されたため、改修する。



2-③各制御盤の更新

必要性 故障した部品の交換で対応してきたが、機能が低下してきたこと及び部品の生産が中止されたため、改修。



2-④ 舞台音響設備の更新

必要性 劣化が進行しているが、メーカーの保守
パーツ保持期間が7年であり、現在は修理不可
能であるため更新する。



2-⑤ 舞台照明設備更新

必要性 劣化が進行しているが、メーカーの保守パーツ保持期間が6年であり、現在は修理不可能であるため更新する。



3. 利便性

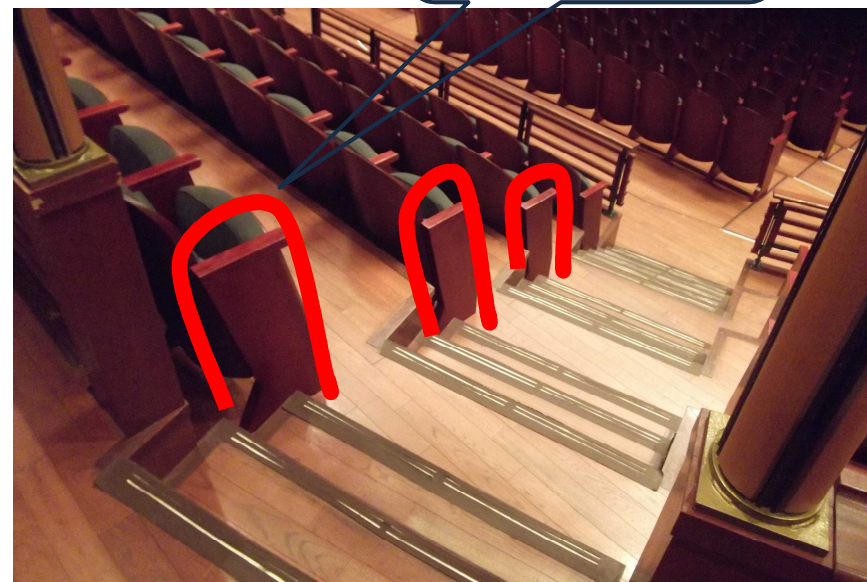
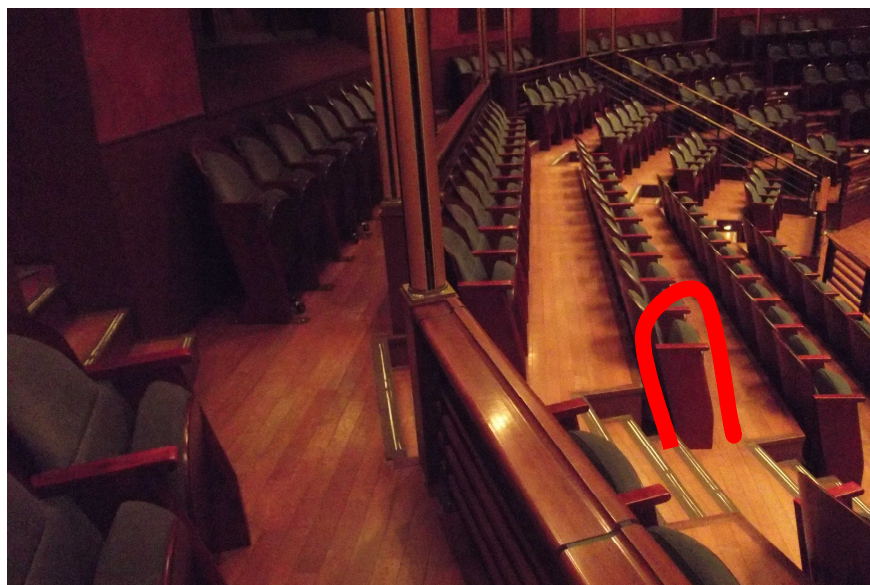
- ①客席の手すり設置
- ②車いす席の増設
- ③ウォッシュレットの設置、洋式化などのトイレ改修
- ④シャワー室の用途替え
- ⑤光のホール舞台拡張
- ⑥屋上駐車場対策

3-①客席の手すり設置

必要性 今後迎える高齢化社会に対応し、舞台の階段部分に手すりを設ける

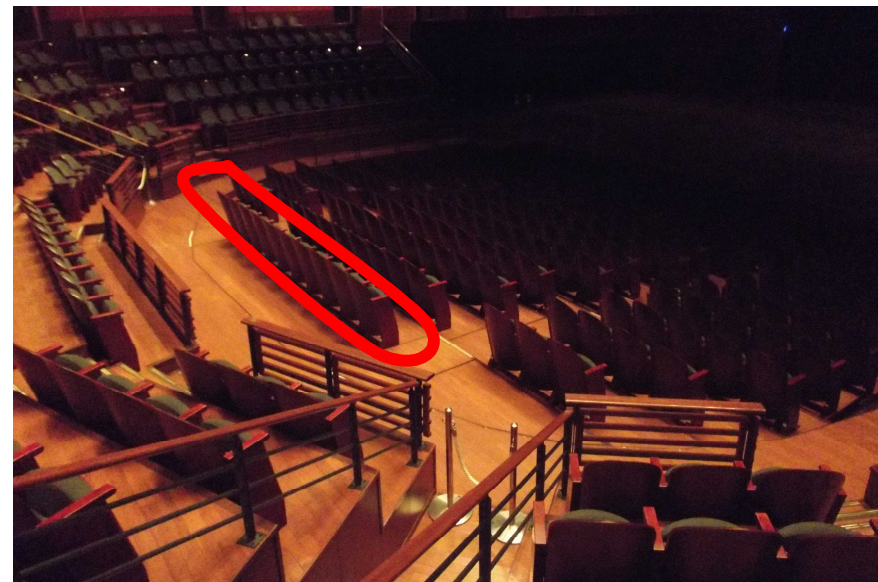
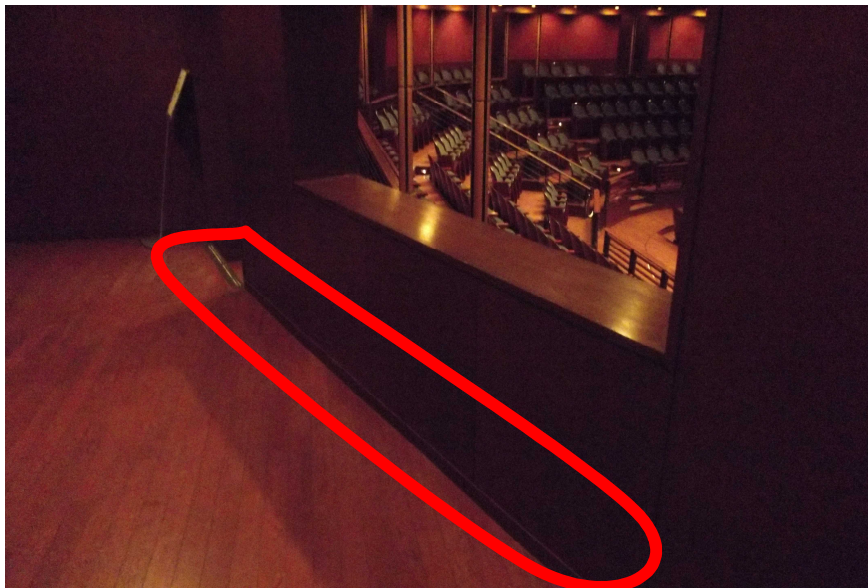
不注意による事故が多い

手摺り設置部分
(イメージ)



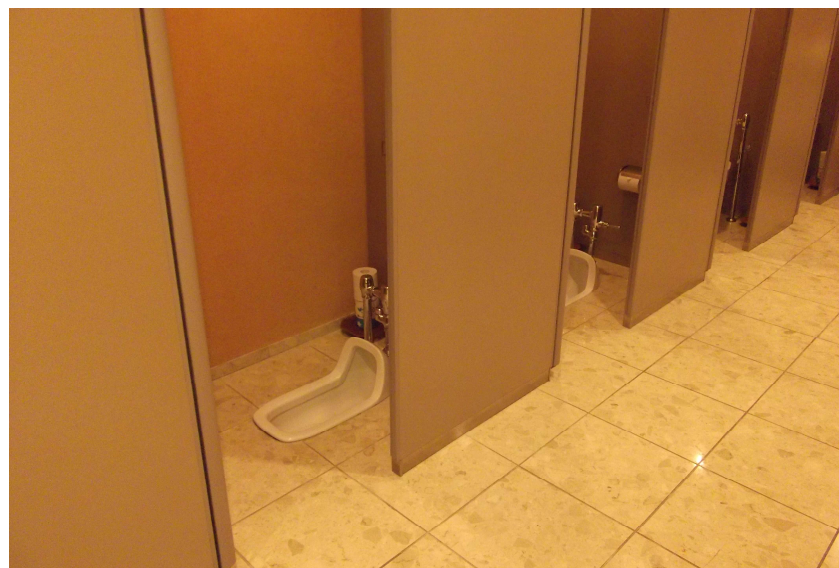
3-②車いす席の増設

必要性 現在の車いす席は、森のホールは4席しかなく、また端席であることから現在の客席を一部可動式とし、**車いす席を10席確保**する。



3-③ウォッシュレットの設置、洋式化などのトイレ改修

必要性 現在トイレの数46のうち14は和式となっていることから、各施設1箇所を和式とし残りは洋式化していく。同時にウォッシュレットを設置する。



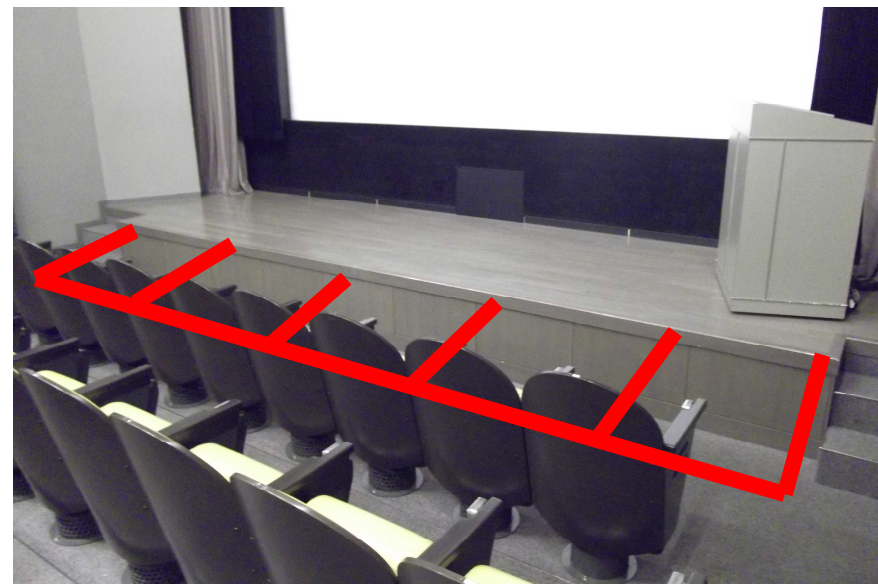
3-④シャワー室の用途替え

必要性 アートリビングのシャワー室は利用頻度が低い(年2回程度)ことから、利用者から要望がある控室に変更する。



3-⑤光のホール舞台拡張

必要性 光のホールは舞台の奥行きが1.7mしかなく、講演会や映像の鑑賞しかできないことから舞台を拡幅することにより、シンポジウムや舞台練習等の用途でも利用できる施設とする。



3-⑥ 屋上駐車場対策

必要性 利用者から、区画線がないため駐車しづらいつの意見がある。また、水はけが悪く雨が降ると凸凹となる。



4、コストパフォーマンス

- ①空調機器の小型化、個別化
- ②照明機器のLED化

4-①空調機器の小型化、個別化

必要性 現在の機器が劣化していること及び文化の家全体の空調システムであるため、個別で対応できるシステムとし、省エネ化する。



4-②照明機器のLED化

必要性 現在の照明機器をLED照明に換えて省エネ化する。

